

岩手・宮城等の被害状況等について (東日本大震災より3週間の状況)

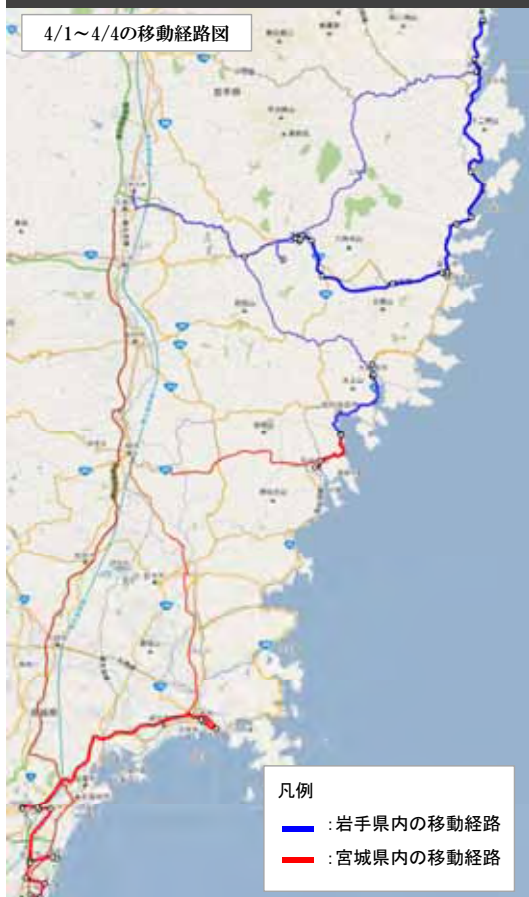
2011年4月18日(月)報告
(株)サイエンスクラフト 元谷 豊

この報告書は、4/1～4/4にかけて(株)サイエンスクラフトが実施した現地調査に基づき作成したものです。
本データについてのお問い合わせは下記までご連絡ください。

(株)サイエンスクラフト東京事務所 TEL 03-6273-2310

1.調査地域について

4/1～4/4の移動経路図



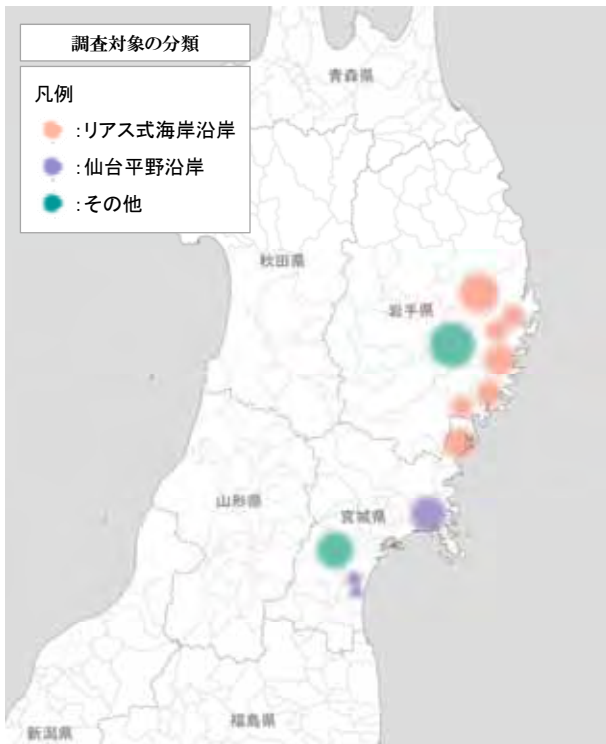
凡例

- : 岩手県内の移動経路
- : 宮城県内の移動経路

■4/1～4/4の訪問先一覧 ■ : 岩手県の市町村 ■ : 宮城県の市町村

日 時	訪問先	備 考
4月1日	遠野市	・遠野市役所訪問
4月2日	遠野市	・遠野市役所訪問 ・沿岸被災地後方支援室室長と意見交換
	釜石市	
	大槌町	・大槌町役場(代替場所)訪問
	山田町	・山田町役場訪問
	宮古市	
	遠野市	・静岡県現地支援調整室訪問
4月3日	岩沼市	
	名取市	
	仙台市	・政府現地対策本部室(宮城県庁)訪問 ・仙台市災害対策本部(青葉区役所内)訪問
	石巻市	
	一関市	
4月4日	気仙沼市	
	陸前高田市	
	大船渡市	・大船渡市災害対策本部訪問

2. 分類



■ 三陸沿岸部(リアス式海岸部)

- ・岩手(宮古・山田・大槌・大船渡・陸前高田)
- ・宮城(気仙沼)

■ 仙台平野沿岸部

- ・宮城(名取・岩沼)

☆ その他、現地活動拠点の様子

- ・沿岸被災地後方支援室 : 岩手県遠野市
- ・政府現地対策本部 : 宮城県仙台市

3. 各地域の被害について

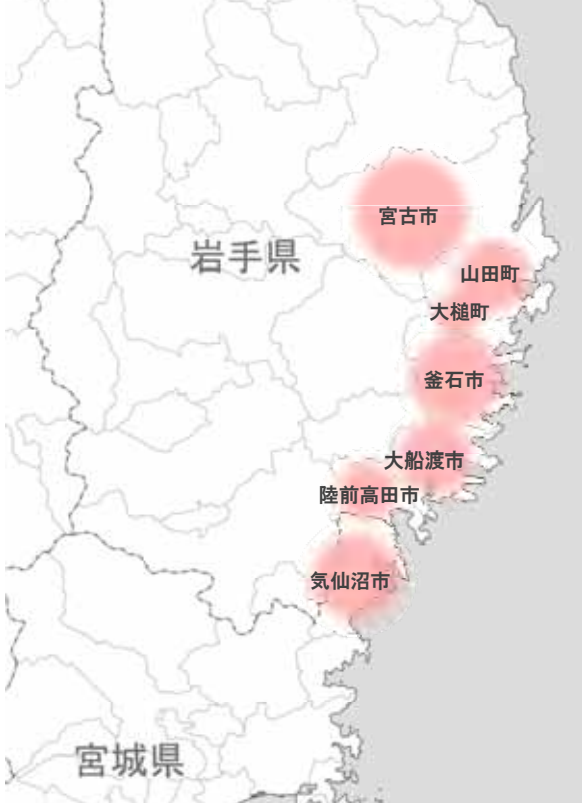
3-1. 三陸沿岸部

- ・リアス式海岸を有する地域の被害

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部(リアス式海岸を有する地域の被害)

三陸(リアス式海岸)沿岸



▼人的被害

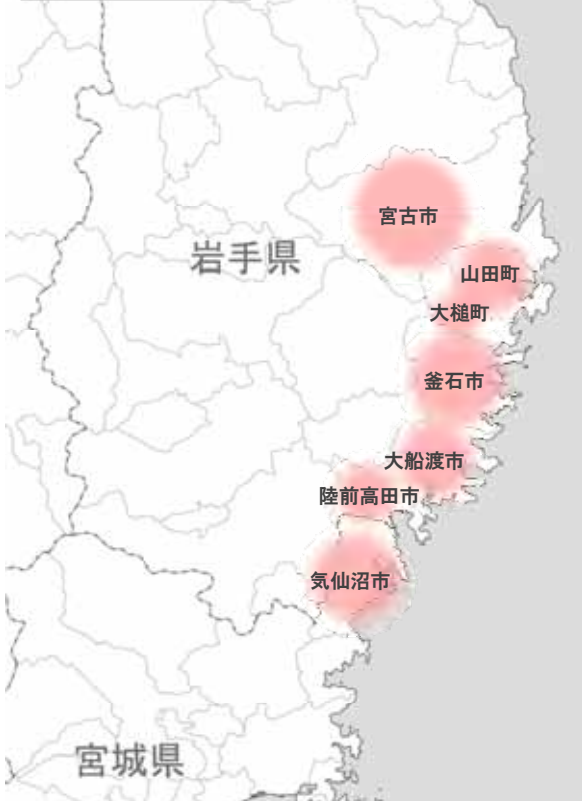
県	市町	人口※1	世帯数※1	死者※2	行方不明※2	重軽傷※2
岩手	宮古市	59,442	22,504	402	682	33
	山田町	18,625	6,605	535	378	調査中
	大槌町	15,277	5,674	634	1,007	調査中
	釜石市	39,578	16,095	726	596	調査中
	大船渡市	40,738	14,814	294	195	調査中
	陸前高田市	23,302	7,794	1,295	1,125	調査中
宮城	気仙沼市	73,494	25,464	765	1,266	調査中

1: 国勢調査(速報値)
2: 総務省消防庁(第106報) 4月17日現在

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部(リアス式海岸を有する地域の被害)

リアス式海岸地域の範囲



▼建物被害

県	市町	住宅総数※1	全壊※2	半壊※2
岩手	宮古市	25,010	3,669	1,006
	山田町	7,950	2,513	
	大槌町	6,130	家屋被害多数	
	釜石市	18,420	3,188	535
	大船渡市	16,580	3,629	
	陸前高田市	8,550	家屋被害3,600棟	
宮城	気仙沼市	25,670	調査中	

1: 平成20年住宅・土地統計調査
2: 総務省消防庁(第106報) 4月17日現在

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-1.宮古市（岩手県）



● 宮古市

○平成の合併で県最大の面積を有する
（田老地区は、平成17年に併合）

● 被害等について

○田老地区には、総延長2,433m、高さ10.0mの“田老万里の長城”と呼ばれる津波防潮堤があったが、津波は防潮堤を超え、地区に被害をもたらしたほか、海側堤防の半分を破壊。
（高さ20m以上の津波が襲来）

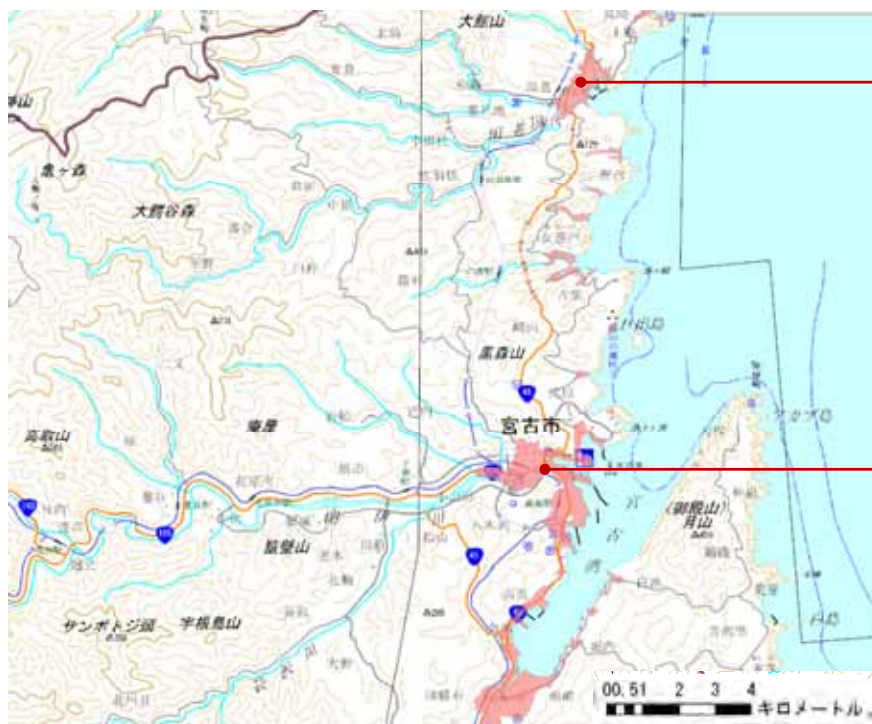
○浸水範囲は、海岸線から約1～2kmと推定（国土地理院の浸水範囲図をもとに推定）

○姉吉地区で、津波の高さ「遡上（そじょう）高」が38.9メートルとの調査報告
（毎日新聞 2011年4月15日）

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-1.宮古市（岩手県）



3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-1.宮古市（岩手県）



閉伊川河口部
津波でJR山田線橋脚が流される

宮古市役所前
防波堤を超えた津波に流された船



宮古市宮古地区 （4月2日）

宮古市田老地区周辺の被災状況 (新旧画像)



被災前(昭和52年10月撮影)



被災後(平成23年3月13日撮影)



3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-1.宮古市（岩手県）



宮古市田老地区（4月2日）破壊された防潮堤

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-1.宮古市（岩手県）



宮古市田老地区（4月2日）破壊された防潮堤

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-1.宮古市（岩手県）



津波は3階部分まで到達
(たろう観光ホテル)



宮古市田老地区 （4月2日）RC造だけ残存

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-1.宮古市（岩手県）



海岸から二重目の防潮堤
(右側が海側)

二重の防潮堤を突破し
住家に被害



宮古市田老地区 （4月2日）

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-2.山田町（岩手県）



● 山田町

○町は山田湾に面して海沿いにひらける港周辺に駅や役場、病院などが集中。

○昭和三陸津波(1933年)時の被害は軽微

● 被害等について

○大規模な津波(堤高約8.5mの防潮堤を超える)の後、大規模な市街地火災が発生し、大きな被害。

○浸水範囲は、海岸線から約1kmと推定
(国土地理院の浸水範囲図をもとに推定)

○役場は高台にあり、直接的な津波の影響は免れた。4月5日に電力が仮復旧
町公式HPIは、停止中(4月17日時点)

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-2.山田町（岩手県）



赤色地域が浸水範囲
(出所：国土地理院)

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-2.山田町（岩手県）



山田町 町中心部 (4月2日) 町役場屋上より

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-2.山田町（岩手県）



山田町 山田湾沿岸 (4月2日)

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-2.山田町（岩手県）



山田町 配給の様子（4月2日）・・・物資が届かない

3.地域の特性と被害

3-1.三陸沿岸部

3-1-3.大槌町（岩手県）

大槌町の位置



● 大槌町

○町は大槌湾、船越湾に面して海沿いに開けている。

● 被害等について

○大槌湾（大槌）、船越湾（吉里吉里）に面した地域が津波により大きな被害

○職員の多数（職員138人のうち、課長7人を含む32人）が死亡・行方不明。

○浸水範囲は、海岸線から最大約2kmと推定（国土地理院の浸水範囲図をもとに推定）

○町役場は2階天井まで浸水し機能不全となり、高台の公民館を役場として活用。その後、町立大槌小校校庭に同町役場のプレハブ庁舎を建設（4月9日に完成）

3.地域の特性と被害

3-1.三陸沿岸部

3-1-3.大槌町（岩手県）



吉里吉里地区

大槌地区

赤色地域が浸水範囲
(出所：国土地理院)

3.地域の特性と被害

3-1.三陸沿岸部

3-1-3.大槌町（岩手県）



大槌町 大槌地域 (4月2日) 公民館より

3.地域の特性と被害

3-1.三陸沿岸部

3-1-3.大槌町（岩手県）



被災した大槌町役場（4月2日）2階天井まで津波は到達

3.地域の特性と被害

3-1.三陸沿岸部

3-1-3.大槌町（岩手県）



高台の公民館に災対本部を仮設置



大槌小学校校庭にプレハブ庁舎建設中の様子

大槌町役場の仮設置（4月2日）

3.地域の特性と被害

3-1.三陸沿岸部

3-1-3.大槌町（岩手県）



大槌町 吉里吉里地区（4月2日）

3.地域の特性と被害

3-1.三陸沿岸部

3-1-4.釜石市（岩手県）

釜石市の位置



● 釜石市

○釜石湾に面した地区に人口が多数集中している。近代製鉄業発祥の地で、最盛期の人口は9万人を超えることもあった。

● 被害等について

○大槌湾、両石湾、唐丹湾、釜石湾に面して津波被害が甚大。特に、釜石湾に面した地域が津波により大きな被害

○浸水範囲は、海岸線から約1kmと推定
(国土地理院の浸水範囲図をもとに推定)

○港内津波7～9m(土木学会、推測値)

○釜石市役所は2階まで浸水。鈴子町のシープラザ釜石に災害対策本部を設置

3.地域の特性と被害

3-1.三陸沿岸部

3-1-4.釜石市（岩手県）



釜石 港地区

赤色地域が浸水範囲
(出所：国土地理院)

3.地域の特性と被害

3-1.三陸沿岸部

3-1-4.釜石市（岩手県）



釜石市 (4月2日) 釜石港付近

3.地域の特性と被害

3-1.三陸沿岸部

3-1-4.釜石市（岩手県）



釜石港近傍市街地



釜石市（4月2日）

3.地域の特性と被害

3-1.三陸沿岸部

3-1-4.釜石市（岩手県）



釜石市（4月2日）鶴住居町

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-5.大船渡市（岩手県）

大船渡市の位置



● 大船渡市

- 県内最大規模の公共ふ頭を有し、県沿岸南部の物流の拠点。重要港湾である大船渡港が立地。
- 市内各地に石灰石鉱山があり、大船渡湾奥には太平洋セメント工場が立地。

● 被害等について

- 大船渡湾周辺が津波による浸水被害。大船渡港は、津波により壊滅的な被害
- 浸水範囲は、海岸線から最大約2kmと推定（国土地理院の浸水範囲図をもとに推定）

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-5.大船渡市（岩手県）



大船渡

赤色地域が浸水範囲
(出所：国土地理院)

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-5.大船渡市（岩手県）



大船渡市（4月4日） 大船渡町付近

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-5.大船渡市（岩手県）



大船渡市（4月4日） 大船渡町付近

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-6.陸前高田市（岩手県）

陸前高田市の位置



● 地形・産業の特徴

○西の唐桑半島と東の広田半島に挟まれた広田湾に面して、小さな平野が広がる。

● 被害の特徴

○職員の多数(職員296人のうち、68人)が死亡・行方不明。

○市庁舎は3階天井まで浸水し、機能不全。高台にある「市給食センター」を活用。

○陸前高田市の第一中に36戸が完成

○津波の浸水範囲は、海岸線から最大約4kmと推定(国土地理院の浸水範囲図をもとに推定)

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-6.陸前高田市（岩手県）



陸前高田

赤色地域が浸水範囲
(出所：国土地理院)

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-6.陸前高田市（岩手県）



陸前高田市（4月4日）海岸線より約2 km

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-6.陸前高田市（岩手県）



被災した陸前高田市役所（4月4日） 3階天井まで津波は到達

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-6.陸前高田市（岩手県）



陸前高田市（4月4日） 第一中学校校庭（36戸の仮設住宅）

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-6.陸前高田市（岩手県）



陸前高田市（4月4日） 第一中学校体育館（避難所）

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-6.陸前高田市（岩手県）



陸前高田市（4月4日） 海岸付近の雇用促進住宅（4階天井まで津波が到達）

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-7.気仙沼市（宮城県）

気仙沼市の位置



● 気仙沼市

○東部の唐桑地区から気仙沼地区にかけて、リアス式海岸。岩手県沿岸と比較して標高が低くなだらかな丘陵が多い。

● 被害等について

○港にある漁船用燃料タンクが津波で倒されて、流出した重油に引火し、大規模な火災が発生。津波と大火災により大きな被害を受けた。

○津波の浸水範囲は、海岸線から最大約2kmと推定（国土地理院の浸水範囲図をもとに推定）

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-7.気仙沼市（宮城県）



気仙沼地区

赤色地域が浸水範囲
(出所：国土地理院)

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-7.気仙沼市（宮城県）



気仙沼市（4月4日） 中心市街地

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-7.気仙沼市（宮城県）



気仙沼市（4月4日） 営業を再開の様子

3.各地域の被害について

3-1.三陸沿岸部

3-1-7.気仙沼市（宮城県）



気仙沼線 不通

南気仙沼小学校
津波が1階天井まで浸水



気仙沼市（4月4日）

3.各地域の被害について

3-2.仙台平野沿岸部地域の被害

3.各地域の被害について

3-2.仙台平野沿岸部



▼人的被害

県	市町	人口 ※1	世帯数 ※1	死者※2	行方不明※2	重軽傷 ※2
宮城県	石巻市	160,704	57,812	2,783	2,770	調査中
	名取市	73,140	25,150	876	1,000	調査中
	岩沼市	44,198	15,530	169	15	調査中

1: 国勢調査(速報値)
2: 総務省消防庁(第106報) 4月17日現在

▼建物被害

県	市町	住宅総数※1	全壊 ※2	半壊 ※2
宮城県	石巻市	64,870	28,000	調査中
	名取市	25,820	調査中	
	岩沼市	17,010	調査中	

1: 平成20年住宅・土地統計調査
2: 総務省消防庁(第106報) 4月17日現在

3.各地域の被害について

3-2.仙台平野沿岸部

3-2-1.石巻市（宮城県）



● 石巻(石巻湾沿岸部)

○市東部の石巻湾沿岸部は、漁業や湾内での養殖業が中心。

○市の中心街地は、石巻湾沿岸に面した旧北上川河口に広がっている。

● 被害の特徴

○旧北上川河口部(石巻湾沿岸部)周辺の及び、北上川河口部で周辺の広範囲に、大きな津波の被害が生じている。

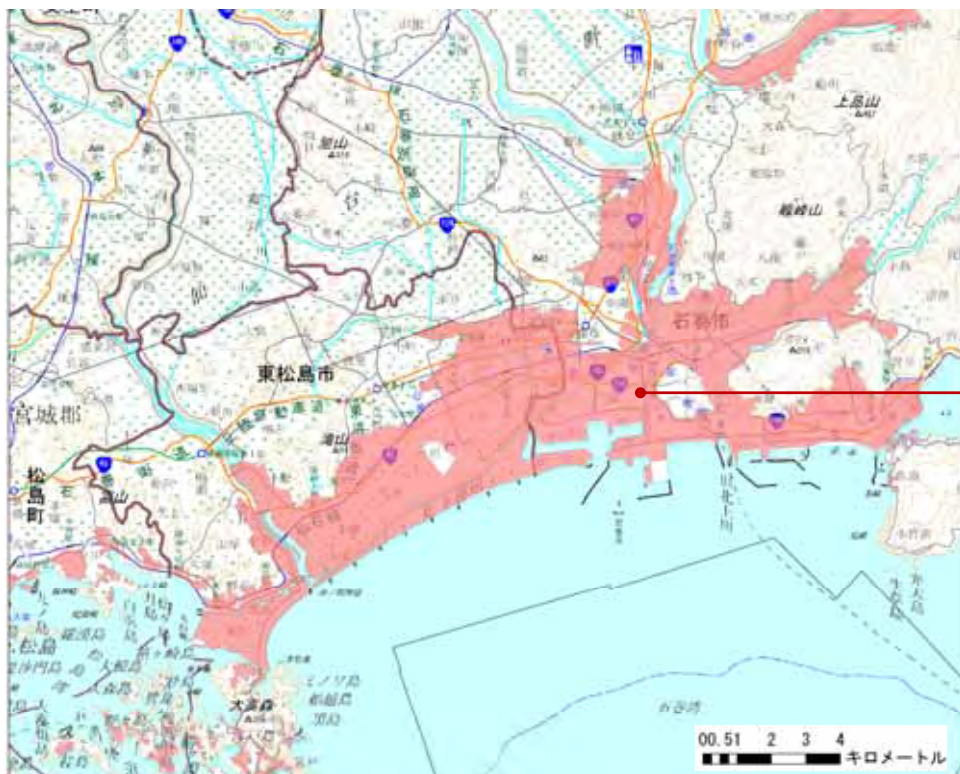
○津波の浸水範囲は、海岸線から最大約4-6kmと推定

(国土地理院の浸水範囲図をもとに推定)

3.各地域の被害について

3-2.仙台平野沿岸部

3-2-1.石巻市（宮城県）



赤色地域が浸水範囲
(出所：国土地理院)

3.各地域の被害について

3-2.仙台平野沿岸部

3-2-1.石巻市（宮城県）



石巻市（4月3日）石巻湾沿岸

3.各地域の被害について

3-2.仙台平野沿岸部

3-2-1.石巻市（宮城県）



石巻市（4月3日）石巻湾沿岸

3.各地域の被害について

3-2.仙台平野沿岸部

3-2-2.名取市・岩沼（宮城県）



● 名取市・岩沼市

- 宮城県の南部に位置、太平洋に面している。市の東部が仙台平野。
- 東北自動車道、国道4号線、東北新幹線、東北本線が縦貫している。市内に仙台空港

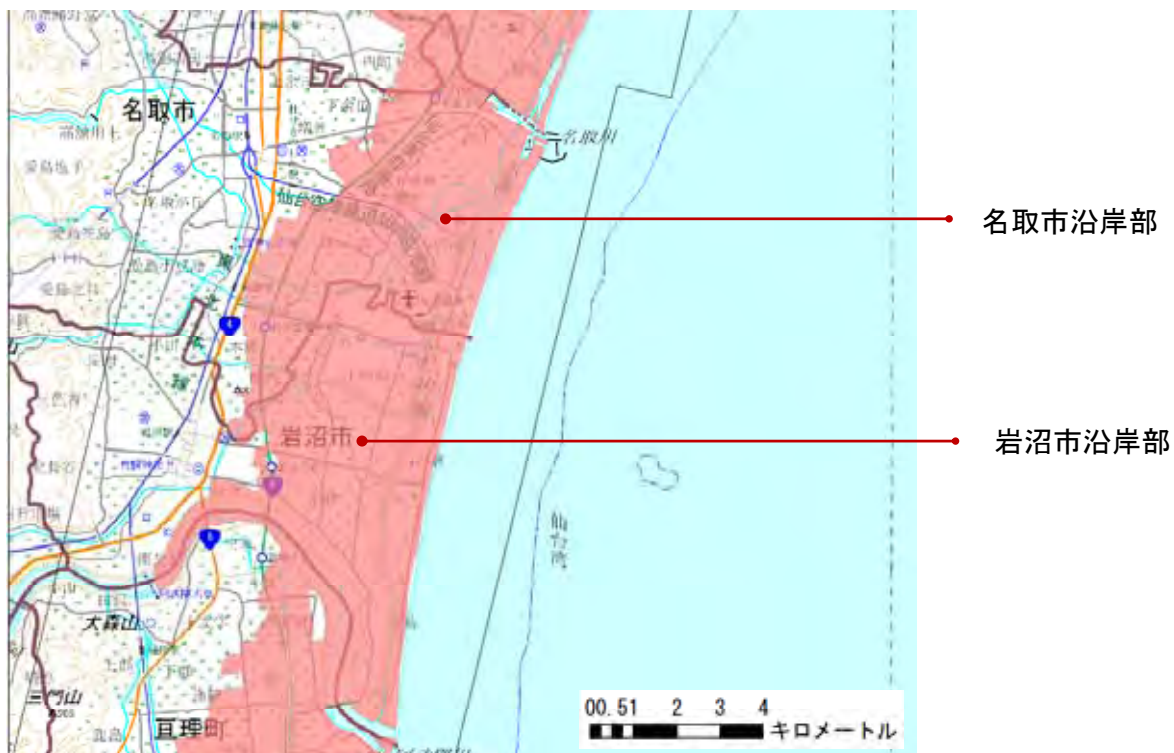
● 被害の特徴

- 津波の浸水範囲は、海岸線から最大約4-6kmと推定
(国土地理院の浸水範囲図をもとに推定)
- 仙台空港は津波により冠水し使用不能。
(4月13日に旅客機運行の再開)

3.各地域の被害について

3-2.仙台平野沿岸部

3-2-2.名取市・岩沼（宮城県）



3.各地域の被害について

3-2.仙台平野沿岸部

3-2-2.名取市・岩沼（宮城県）



名取市（4月3日）海岸線より約3 km地点

3.各地域の被害について

3-2.仙台平野沿岸部

3-2-2.名取市・岩沼（宮城県）



名取市（4月3日）海岸線より約500 m地点の高台より内陸部側を見る

3.各地域の被害について

3-2.仙台平野沿岸部

3-2-2.名取市・岩沼（宮城県）



名取市（4月3日）海岸線より約500m地点の高台より海側を見る

3.各地域の被害について

3-3. まとめ(覚書) 津波に関して

○既存の防波堤・防潮堤では、守り切れなかった。

- 三陸沿岸部を襲った大津波は、その多くが防潮堤や水門等を超えて襲来し、沿岸部周辺の各地域に到達している。
- また、防波堤等の多くは破壊され、その機能を果たせないものとなっている。

○津波避難の対策が住民を守ったところと、守り切れなかったところが生じた。

- 釜石市では、市内の児童・生徒の多くが無事に逃げ延びた。
(津波避難に対する教育の徹底・充実)

○津波避難の意識が十分でないところもあった。

- 山田町は津波に強いと考えられていた地域。過信があったのではないかとの声もある。

○ハードの整備とソフト整備の両面の充実が必要

- 防潮堤など構造物が、住民の生命・財産を守りきれないことを念頭に、避難対策などのソフト面の充実を図る。
- 10mを超える津波の発生で、防潮堤があまり機能しなかったように感じ取られるが、防潮堤が不要という議論にはならないのではないか。

3.各地域の被害について

3-3. まとめ(覚書) 津波に関して

2. 各教科での地震・津波防災に関する知識の取り込み				
3. 学年別・教育目的別津波防災教育カリキュラム				
3.1 小学校1-2年生				
(1)	1. 地震・津波を知る	C. 避難の必要性を知る	学 活	1時間
(2)	1. 地震・津波を知る	B. 津波の特徴を知る	体 育	1時間
(3)	1. 地震・津波を知る	B. 津波の特徴を知る	算 数	10-15分
(4-1)	2. 対応行動を知る	-C. 学校や自宅周辺の避難場所を知る	生 活	1時間 (計2時間)
(4-2)	2. 対応行動を知る	-C. 学校や自宅周辺の避難場所を知る (SW&M)	生 活	1時間
3.2 小学校3-4年生				
(1)	2. 対応行動を知る	A. 地震から身を守る方法を知る	学 活	1時間
(2-1)	2. 対応行動を知る	B. 津波からの避難方法を知る	学 活	1時間 (計2時間)
(2-2)	2. 対応行動を知る	C. 学校や自宅周辺の避難場所を知る (SW)	社 会	2時間
(2-3)	2. 対応行動を知る	D. 様々な避難方法を考える	社 会	1時間
(2-4)	2. 対応行動を知る	D. 様々な避難方法を考える (M)	社 会	3時間
(3-1)	2. 地域の津波被害を考える	A. 過去の津波被害を知る	学 活	1時間 (計2時間)
(3-2)	2. 地域の津波被害を考える	B. 津波から地域を守る対策を知る	学 活	1時間
(4)	IV. 先人の経験に学ぶ	A. 体験者から話を聞く	学 活	1時間
(5)	1. 地震・津波を知る	A. 地震・津波の向き方を知る	学 活	1時間
(6)	1. 地震・津波を知る	B. 津波の特徴を知る	学 活	1時間
3.3 小学校5-6年生				
(1)	1. 地震・津波を知る	D. 津波の様々な特徴を理解する	学 活	1時間
(2)	2. 対応行動を知る	C. 学校や自宅周辺の避難場所を知る (SW&M)	観 音	5時間
(3)	2. 地域の津波被害を考える	B. 津波から地域を守る対策を知る	観 音	1時間
(4)	1. 地震・津波を知る	A. 地震・津波の向き方を知る	学 活	1時間
(5)	1. 地震・津波を知る	D. 津波の様々な特徴を理解する	学 活	1時間
(6)	2. 地域の津波被害を考える	B. 津波から地域を守る対策を知る	学 活	1時間
(7)	IV. 先人の経験に学ぶ	B. 津波でんでんこ	学 活	1時間
(7)	2. 地域の津波被害を考える	A. 過去の津波被害を知る	観 音	1-2時間
3.4 中学校1-2-3年生				
(1)	1. 地震・津波を知る	Ⅱ. 対応行動を知る の総復習	観 音	1時間
(2-1)	1. 地震・津波を知る	A. 地震・津波の向き方を知る	理 科	1時間 (計2時間)
(2-2)	1. 地震・津波を知る	E. 地震の揺れの特徴を理解する	理 科	1時間
(3)	2. 対応行動を知る	E. 避難後の行動を考える	学 活	2時間
(4)	2. 対応行動を知る	E. 避難後の行動を考える	学 活	1時間
(5)	2. 地域の津波被害を考える	B. 津波から地域を守る対策を知る	社 会	1時間
(6)	2. 対応行動を知る	F. 避難できない人間の心構えを知る	総合学	1時間
(7)	IV. 先人の経験に学ぶ	C. 語り継ぐ責任	道 徳	1時間

釜石市

津波防災教育のための手引き(案)

3.各地域の被害について

3-3. まとめ(覚書) 行政対応等の格差に関して

- 行政サービスが十分機能しない団体(大槌町・陸前高田)が生じ、その結果、隣接市町と比した場合行政サービスにかなりの格差が生じている
 - ・ 人的資源の影響(幹部職員を含む、行政職員が被災)や執務環境の喪失(庁舎が直接被災し全機能が停止)など、行政の被災状況がサービスの可否・迅速性に影響を与える。
 - ・ 避難者対応が一定程度出来始めている団体と、避難状況(避難所、寺、集会所、コミセン)さえつかみきれない団体とに分かれる
- 応援と受援の関係の調整・整合が十分でない。
 - ・ 被災自治体の求める受援ニーズが多すぎることもあり、受援ニーズに対する応援の供給が十分果たせない。量・質両面で、応援の供給量が不足
 - ・ 応援態勢が一元化されていない、応援の仕組みが共通的・標準的でない。
- 広域的かつ継続的な支援の仕組み体制が必要
 - ・ 甚大な被災を受けた小さな市町が、発災後の初動から対応することは困難
 - ・ 応援側の統制機関の充実の必要
- その他、団体の所在する地理的特性が影響し、生活面への格差が生じる。
 - ・ 地勢により、エネルギーや物資の供給に格差が生じる。

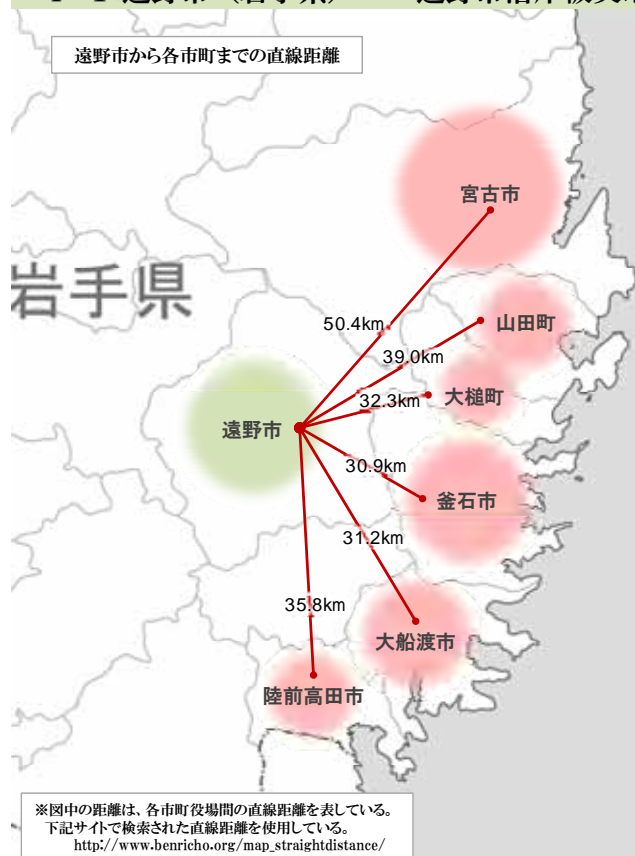
4.その他、現地活動拠点の様子

- ・遠野市沿岸被災地後方支援室
- ・政府緊急災害現地対策本部

4.その他、現地活動拠点の様子

4-1.遠野市（岩手県）－ 遠野市沿岸被災地後方支援室（岩手県）

遠野市から各市町までの直線距離



※図中の距離は、各市町役場間の直線距離を表している。
下記サイトで検索された直線距離を使用している。
http://www.benricho.org/map_straightdistance/

● 遠野市の地勢

- 北上高地の中南部に位置
- 県内陸部から沿岸部に向かう際の経路上の要所

● 被害について

- 遠野市(震度5強)は被害軽微
但し、市役所本庁舎中央館が全壊

● 遠野市が果たしている役割

- 発災以降、支援拠点として、山田・大槌・釜石・大船渡・陸前高田への人的・物的支援を展開
- 遠野市沿岸被災地後方支援室を設置(3月28日)

4.その他、現地活動拠点の様子

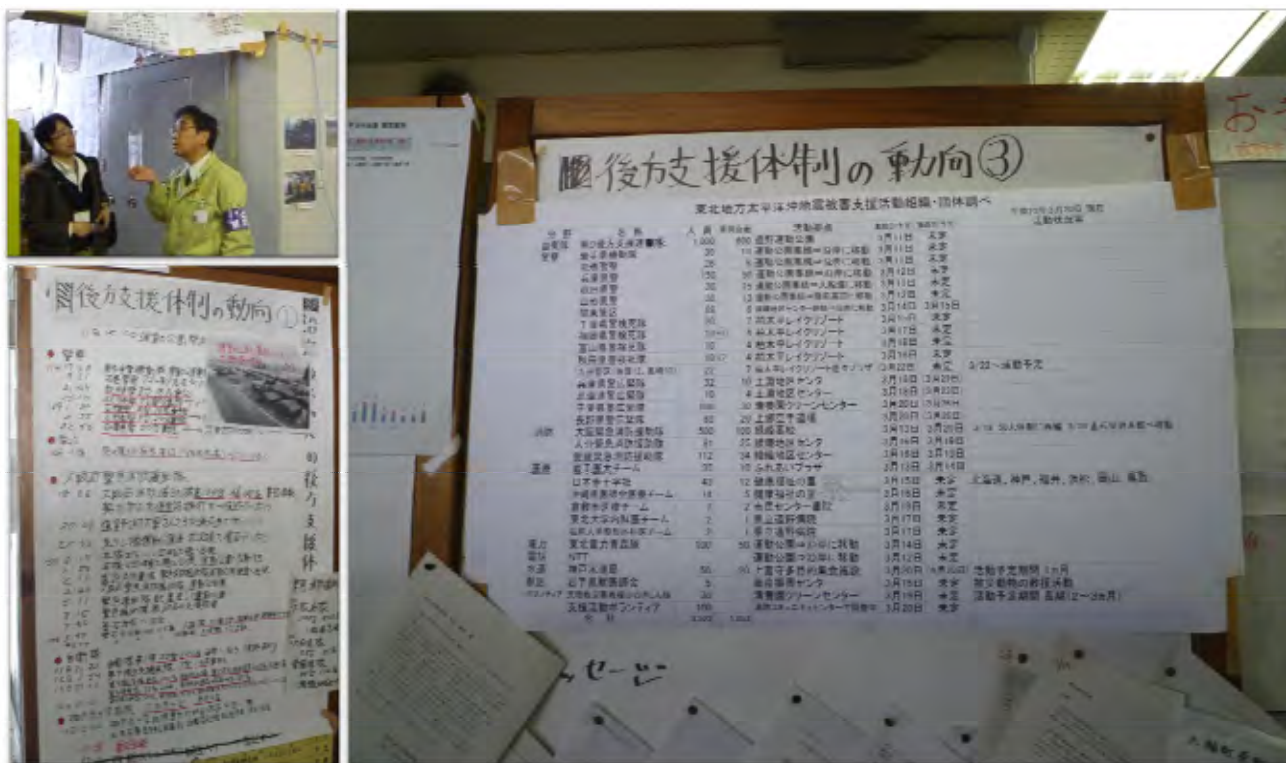
4-1.遠野市（岩手県）－ 遠野市沿岸被災地後方支援室（岩手県）



遠野市沿岸被災地後方支援室

4.その他、現地活動拠点の様子

4-1.遠野市（岩手県）－ 遠野市沿岸被災地後方支援室（岩手県）



遠野市沿岸被災地後方支援室

4.その他、現地活動拠点の様子

4-1.遠野市（岩手県）－ 遠野市本庁舎中央館



遠野市本庁舎中央館 全壊

4.その他、現地活動拠点の様子

4-1.遠野市（岩手県）－ 遠野市本庁舎中央館



遠野浄化センター内に「静岡県現地支援調整本部」を設置

4.その他、現地活動拠点の様子

4-1.遠野市（岩手県）－ 拠点の役割と課題について

【沿岸被災地後方支援室（3月28日設置）について】

- 長期化が見込まれる沿岸被災地域への後方支援体制を強化することを目的
- 警察・消防・自衛隊・医療チーム、応援自治体等の後方支援拠点として、また支援調整所としての役割を果たしている。
- 後方支援室には、岩手県と全国知事会の要請で被災地に物資の支援をしている静岡県職員もつめていて市とそれぞれの県の職員が情報共有を図りながら後方支援の充実を図ることになる
- 平成19年度から「地震・津波災害における後方支援拠点施設整備構想」を基盤に「三陸地域地震災害後方支援拠点施設整備を推進」してきた

○国・県との十分な調整のもとでの組織的な活動の必要

- 関西広域連合など、別の広域応援の組織等との連携・調整は？

○沿岸部の市町村ニーズに合った支援の仕組み（マネジメント）や態勢の必要

- 被害が甚大であった市町では、市町村事務の遂行を可能とする職員を求めているが、提供は十分でない。（ニーズを満たせる市町村職員は少ない）
- 中長期にわたって、市町村レベル（現場で支援を行ってもらえる）職員が必要
- 県職員は各市町で物資の受け入れ、配分支援が重点。

4.その他、現地活動拠点の様子

4-2.宮城県（県庁）－ 政府緊急災害現地対策本部



● 政府の現地対策室等

- 3月12日6:00 宮城県（県庁11階）に緊急災害現地対策本部を設置
- ※岩手県、福島県のそれぞれにも、政府の現地連絡対策室が設置

● 組織体制と主な役割

- 組織は、各省庁の代表からなる混成組織
- 緊急災害対策本部と宮城県との調整、現地における情報収集、緊急災害対策本部への情報提供 等

4.その他、現地活動拠点の様子

4-2.宮城県（県庁）－ 政府緊急災害現地対策本部



政府緊急災害現地対策本部

4.その他、現地活動拠点の様子

4-1.政府緊急災害現地対策本部－ 拠点の役割と課題について

【政府緊急災害現地対策本部（3月12日設置）について】

- 内閣官房、内閣府、厚生労働省、国土交通省、経済産業省、農林水産省、文部科学省、環境省、防衛省、総務省・消防庁、海上保安庁、水産庁、林野庁、国土地理院から成る組織
- 現地における各種情報の収集、ニーズを把握し、緊急災害対策本部に情報提供するとともに、本部、宮城県との懸け橋として各種調整を行う。また、現地で行われる対策本部等の重要会議に出席し、政府の方向性を示す。

5. 最後に

今後、中長期にわたり、行政職員をはじめ、多くの支援が必要

全国市長会会長
災害対策本部部長
森 民夫

東北地方太平洋沖地震に係る被災市町村に対する人的支援のための職員派遣について(依頼)

平素、本会の会員運営につきまして、特段のご高配を賜り感謝申し上げます。
また、東北地方太平洋沖地震の応急対策に係る支援につきましては、これまでも各都市において積極的にご対応いただいているところであり、深く感謝申し上げます。さて、本会では、被災者、被災者及び全国町村会との協力により、迅速かつ効果的かつ総合的な被災市町村に対する職員派遣のための体制を構築したところであります。

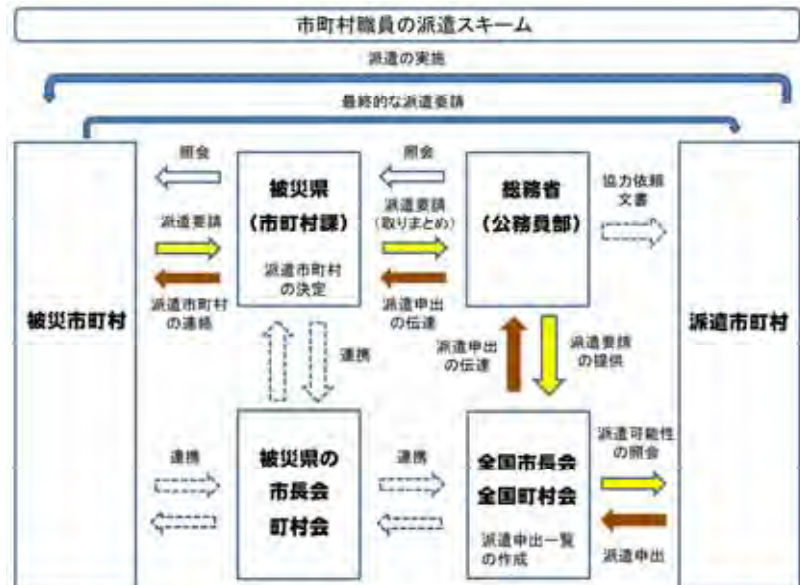
これまでも、各都市におかれましては、緊急・応急的に訪問や来道、訪問、看護、保健師をはじめ多くの職員をご派遣いただけているところであります。

本体制に基づく派遣は、速に業務をはじめとする行政業務の回復・維持や、避難所の運営、避難所等の見守り等緊急業務等について、短期的な派遣をお願いするものであります。被災市町村からの職員派遣の要請は、物量2「職員派遣要請とりまとめ表」のとおりとなっております。この中には、中・長期に係る職員派遣の要請も含まれていることから、これについても今回派遣をお願いすることいたしました。

つきましては、被災市町村の支援をご賢察のうえ、貴市区の職員の派遣につきまして、特段のご支援、ご協力をお願い申し上げます。なお、災害対応の経験や有する職員がいらっしゃる場合には、優先的にご派遣いただければ幸いです。

ご派遣をいただける場合は、短期の派遣につきましては「派遣可能性回答書【短期】」に、中・長期の派遣につきましては「派遣可能性回答書【中・長期】」にそれぞれご記入いただき、4月7日(水)までに、事務局宛で電子メール、もしくはファクシミリにてご回答いただきますようお願い申し上げます。

また、短期の職員派遣は、数週間、数か月、もしくは1週間程度の交替制による数



東北地方太平洋沖地震に係る被災市町村に対する人的支援のための職員派遣について(依頼)

出所: 全国市長会HP

最後までご覧いただきありがとうございました。

Science Craft

株式会社 サイエンスクラフト

<http://www.scraft.co.jp/>

【本社】

〒915-0074 福井県越前市蓬萊町5-1
TEL 0778-21-1189 FAX 0778-21-0676

【東京事務所】

〒160-0003 東京都新宿区本塩町 21-14 カーサ四谷5階
TEL 03-6273-2310 FAX 03-6273-2385

【大阪事務所】

〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島1-17-5-1018
TEL 06-6195-6191